

平成26年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	(独) 航海訓練所施設整備費補助金		担当部局庁	海事局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～平成27年度		担当課室	海技課船員教育室			室長 阪本 敏章	
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人航海訓練所法)		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	船舶職員の資格を取得しようとする学生等に対し、「船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約(STCW条約)」に基づく訓練内容を充足しつつ、一定期間の必要な乗船履歴を付与している業務等を効率的に行うために必要な施設・設備の整備を行っている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際条約(STCW条約:船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約)の改正によって強化される訓練に対応するためのシミュレータの整備を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	46	131	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計		-	-	-	46	131	
	執行額		-	-	-	-	-	
執行率(%)		-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	シミュレータの整備	成果実績						
		目標値						
		達成度			%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	シミュレータの整備	活動実績						-
		当初見込み			百万円			46
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	予算額(百万円)÷シミュレータ(1基)	単位当たりコスト			百万円			46
		計算式			百万円/1基			46/1基
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	施設整備費	46	131	エンジンルームシミュレータ整備費用の増				
	計	46	131	要求額のうち「新しい日本のための優先課題推進枠」100				

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・国際条約（STCW条約：船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約）の改正によって強制化される訓練に対応するためのシミュレータの整備に係る事業であり、広く国民に裨益するものである。 ・独法の施設整備に係る補助であり、国が補助すべき。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	・広く国民が裨益する事業であり、国費を支出する必要がある。 ・資金は、製造・施工業者に支出される予定である。 ・費目・使途は施設整備に必要なものに限定されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・独法の施設整備を支援するものであり、補助金以外の手段はない。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	広く国民が裨益する事業であり、国費を支出する必要がある。また、資金は製造・施工業者と契約する予定で、費目・使途も施設整備に必要なものに限定される予定。				
	改善の方向性					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
適切かつ効率的な予算の執行を図るべきである。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年		平成24年		平成25年	26-69

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
46百万円

船員の航海訓練の一環として、
国際条約の改正に基づく船内の集
団的意思疎通及び危機対応に関
する訓練に必要なシミュレータ導
入の補助



【補助】

A.(独)航海訓練所
46百万円

船員の航海訓練の一環として、
国際条約の改正に基づく船内の
集団的意思疎通及び危機対応に
関する訓練に必要なシミュレー
タ導入に必要な施設整備



【一般競争入札】

B.民間事業者
46百万円

シミュレータの製造及び設置

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

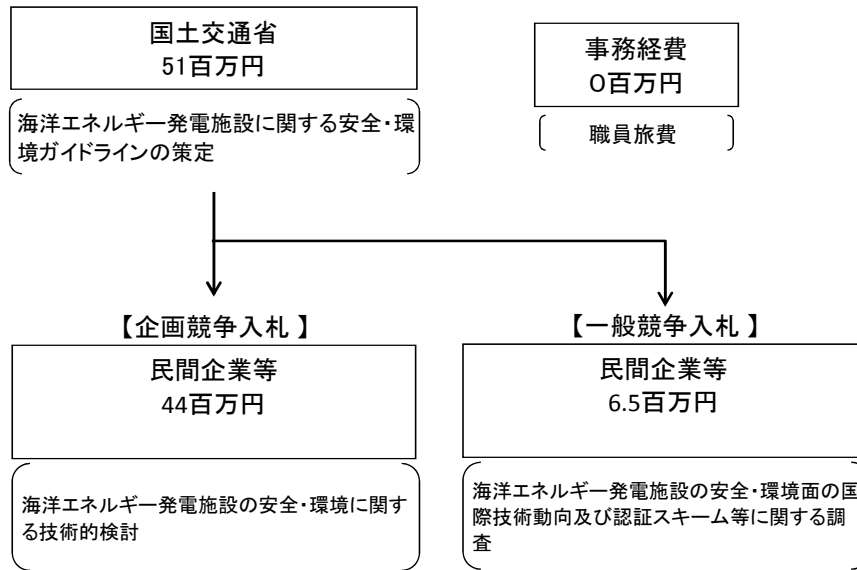
平成26年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	海洋エネルギーの活用促進のための安全・環境対策		担当部局庁	海事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～平成28年度		担当課室	海洋・環境政策課		大谷 雅実		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	海洋基本計画				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本周辺の海洋エネルギー(波力、潮流等)の豊富なポテンシャルを踏まえ、海洋エネルギーの活用を促進するために浮体式等発電施設の安全・環境対策を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	海洋エネルギー発電施設を洋上・海中という厳しい自然環境において安全に稼働させるとともに、油流出等海洋環境汚染を防止させるため、必要となる浮体・係留設備等に係る安全面及び環境面に関する技術的検討を実施し、設計手法の指針である安全ガイドラインを策定。 具体的検討課題は次のとおり。 ○係留技術(動揺分析、疲労破壊や津波への対応) ○非常時への対応(浸水、破損時における復原性・浮遊性確保) ○海洋汚染防止対策(油等流出防止対策)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	-	-	-	51	290	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	51	290	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値(年度)
	・本事業は、海洋エネルギー発電施設を安全・環境面を担保しつつ稼働させるため、必要な技術的検討等を実施するものであり、定量的な成果目標を示すことは困難であるが、有識者による検討会での議論等を踏まえ、必要な安全・環境ガイドラインを策定することとする。		成果実績	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	・本事業は、海洋エネルギー発電施設を安全・環境面を担保しつつ稼働させるため、必要な技術的検討等を実施するものであり、定量的な活動実績を示すことは困難であるが、有識者による検討会での議論等を踏まえ、必要な安全・環境ガイドラインを策定することとする。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-	-
					-	-	-	-
単位当たりコスト	-		(円/)	算出根拠	-			
平成26・27年度予算内訳(単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	技術研究開発謝金	-	0.2	日本周辺の海洋エネルギー(波力、潮流等)の豊富なポテンシャルを踏まえ、海洋エネルギーの活用を促進するために浮体式等発電施設の安全・環境対策を図る。また、水素社会の実現に向けて、燃料電池船の導入を推進するため、船舶の安全・環境対策を図る。 「新しい日本のための優先課題推進枠」290				
	技術研究開発調査旅費	0.08	0.2					
	技術研究開発調査費	6.5	146.1					
	技術研究開発委託費	44	143.5					
	-	-	-					
	-	-	-					
-	-	-						
計	51	290						

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	・本事業は、海洋エネルギー発電施設を安全・環境面を担保しつつ稼働させるため、施設が満たすべき要件をガイドラインとしてとりまとめるもの。 ・安全・環境に関する基準等は、国民の生命・財産を保護するためのものであることから、国が一義的に策定する必要がある。 ・日本再興戦略(H25.6)の戦略市場創造プランロードマップにおいて「波力、潮流等の海洋エネルギーについては、技術開発、実証フィールドの整備・実証実験の開始等を通じ、商業化を支援」とされている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	-			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
	-	-			-
点検・改善結果	点検結果	海洋エネルギー発電に関するガイドラインを策定する上で必要な事業を、より効率的、効果的に実行できるよう、適正な予算執行に努める。			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
-					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-	適切かつ効率的な予算の執行を図るべきである。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-	-				
備考					
-					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	新26-72

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-